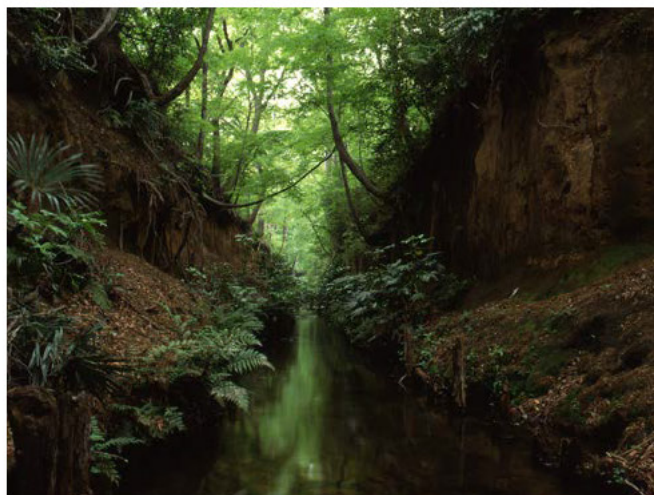


報道関係者各位

東京ビエンナーレ2020/2021 秋冬アーツプロジェクト 開催のお知らせ



リー智子「玉川上水46億年を歩く」写真：加藤嘉六

今秋の東京ビエンナーレ2020/2021は、夏のイベントに続き東京都内各所やオンラインにてアーツプロジェクトの展示を行います。また、2021年のコア期間に向けて進行するプロジェクトの制作過程を一部公開します。変化する社会のあり方をアートの視点から考察しながら実験的な取り組みを行うアーツプロジェクトに是非ご注目ください。

※本芸術祭開催にあたりましては、新型コロナウイルス感染症の情報を細心の注意を払い、専門家の意見を仰ぎながら、具体的な感染防疫対策をまいります。会期 会場等は変更になる場合もございます。

秋冬アーツプロジェクト

10月から12月にかけて6つのアーツプロジェクトを実施します。詳細は2ページ目以降をご覧ください。

プロジェクト名／アーティスト名	実施期間	場所・会場
● 着がえる家プロジェクト「感覚の洗濯」／西尾美也	10/17、10/18	海老原商店
● 玉川上水46億年を歩く ショートウォーク／リー智子	10/18、10/31、 11/14、11/28、 12/12	玉川上水周辺
◎ 動く土 動く植物 第一歩期間／村山修二郎	10月下旬～全3回	特設WEBサイト
● ロイダッツチャリティショップ@東東京市／山崎亮	10/23～10/25	東東京市
● TINY HOUSE FESTIVAL in IKEBUKURO LIVING LOOP／竹内昌義＋中田理恵	11/20～11/23	南池袋公園
● 東京影絵クラブ／川村亘平斎＋宮本武典	11/27～11/29	森岡書店

公開中のアーツプロジェクト

夏にスタートし活動を継続する「トナリ」プロジェクトや、神田の看板建築を再生する「優美堂再生プロジェクト」も随時ご参加いただけるプロジェクトとして進行中です。また、昨今の社会状況の中、大きく変容しているアートに対応した批評の新しいあり方を模索する「批評とメディアの実践プロジェクト『RELATIONS』」も記事を随時更新していますのでぜひご覧ください。

プロジェクト名／アーティスト名	場所・会場	詳細
●◎ トナリ／西原珉	3331 Arts Chiyoda／ オンライン	https://tb2020.jp/news/20200818-tonari/
● 優美堂再生プロジェクト／中村政人	優美堂	https://tb2020.jp/news/20200819-yubido/
◎ 批評とメディアの実践プロジェクト『RELATIONS』／毛利嘉孝 他	特設webサイト	https://relations-tokyo.com

◎・・・オンラインでの実施 ●・・・オフラインでの実施

秋冬アーツプロジェクト

日常の「洗濯」を、五感で楽しむワークショップ 西尾美也「着がえる家プロジェクト 感覚の洗濯」

10/17 (土)、10/18 (日)



長い歴史を感じさせる佇まいで、かつて洋服店を営んでいた海老原商店が、現代の社会状況の中、新たなコミュニティで生きる場所となるプロジェクト。「家が着がえる」という比喻を体験に置き換えながら、2021年コア期間に向けて歴史ある建物が現代の新しい存在として「着がえる」プロジェクトです。第一弾「感覚の洗濯」では、アーティスト西尾美也と共に日常の中の洗濯行為を音楽・花見・写生、などのプロセスで楽しみます。今後、第二弾「ちびっ子テラー」、第三弾「いただきます」とワークショップが続きます。

会場：海老原商店（東京都千代田区神田須田町2-13）

ワークショップ申し込み：詳細は後日発表

時間：10:00-16:00

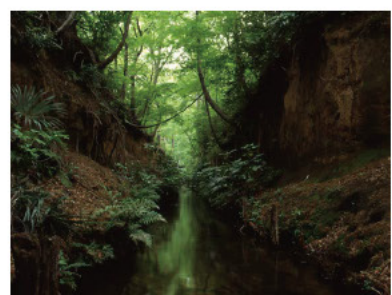
対象：年齢不問（小学生以下は保護者同伴） 定員：各回10名

参加費：無料（途中参加可）

※小雨決行。荒天の場合は中止とし、代わりに西尾によるプロジェクト説明会を実施します。

地球史を距離に置き換え、生態系を考える リー智子「玉川上水46億年を歩く」ショートウォーク

10/18 (日)、10/31 (土)、11/14 (土)
11/28 (土)、12/12 (土)



「玉川上水46億年を歩く」は、46億年の地球史を玉川上水46km(羽村水取堰～皇居)に見立てて歩き、生態系の変化や環境問題を考えながら、ポストコロナ社会において、いまを生きる「ヒト」の立ち位置を考えるプロジェクトです。橋を目安に歩いている地点が何億年なのか、地球史と照らし合わせて歩くことで地球の誕生から現在に至るまでの時間軸を体感します。

今秋は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い延期となっていた、1日で46kmを歩くイベントのプレ企画として46kmを5回に分け、玉川上水や地球の歴史の解説も交えながら各回約10kmの距離を歩きます。

会場：玉川上水周辺

参加方法：事前予約制

参加料：おとな1000円、小学生200円（保険込み）*当日精算

定員：各回15名

第1回 10月18日 (日) 羽村～武蔵砂川 (9.6km)

第2回 10月31日 (土) 武蔵砂川～鷹の台 (6.2km)

第3回 11月14日 (土) 鷹の台～三鷹 (9.6km)

第4回 11月28日 (土) 三鷹～代田橋 (10.6km)

第5回 12月12日 (土) 代田橋～皇居 (9.2km)

第一歩期の動く鉢オーナーになってワークショップに参加！ 村山修二郎「動く土 動く植物 第一歩期間」

10月下旬～全3回



ビルや住宅が所狭しと立ち並ぶ東京の街で、その限られた空間を「動く鉢」を自由に動かしながら植物を育て、時にはお互いの植物を持ち寄り、お互いの植物を鑑賞したり愛で合う会を実施します。土が動き、鉢が動くことで「個人の植物」が「地域の植物」に変化し、鉢が集まることで「地域の庭」が発生し新たなコミュニケーションを生み出します。2020年は「第一歩期間」として植物を育てるオーナーを20名募集し、オンラインでのレクチャー1回とワークショップ2回を開催。

参加方法：10月5日（月）までに参加申し込み

詳細：<https://www.plantproject.net/>

【お問い合わせ先】

一般社団法人 東京ビエンナーレ

〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14 アーツ千代田 3331内

TEL:03-5816-3220 FAX:03-5816-3221 E-Mail: pr@tokyobiennale.jp <担当：市川、森田>

<https://tb2020.jp>

『東京影絵/Tokyo shadow puppet theater』出版記念展を開催
川村亘平斎＋宮本武典「東京影絵クラブ」

11/17（火）～11/29（日）



海外にルーツを持ち日本で暮らす20ヵ国／60名の”東京”をめぐるオーラルヒストリーを、影絵作品『東京影絵/Tokyo shadow puppet theater』と同名書籍の出版を通して可視化するプロジェクト。その第一弾として、影絵公演の脚本となる「聞き書き集」の出版記念展を、銀座・森岡書店で開催します。オリンピックとパンデミックにより多国籍化と保護主義が並走する”東京”の現在を捉え直し、ともに生きる〈あたらしい東京〉への道筋を考えます。

会場：森岡書店（東京都中央区銀座1-28-15 鈴木ビル1階）

企画支援：公益財団法人東京財団、株式会社クレヴィス

今年もタイニーハウスが南池袋公園に集結！竹内昌義＋中田理恵

「TINY HOUSE FESTIVAL in Ikebukuro Living Loop」

11/20（金）～11/23（月・祝）



「小さな家たちによる持続可能な暮らしづくり」をテーマに、セルフビルドで制作されたTINY HOUSEが今年も南池袋公園にやってきます。多様化する個々の「欲しい暮らし」や人との繋がりづくり、社会問題の解決を、「身近に」「小さく」始められることをTINY HOUSEを通じて届けます。

今回はIKEBUKURO LIVING LOOPイベント内にて開催されます。

会場：南池袋公園（東京都豊島区南池袋2-21-1）

詳細：<http://ikebukuropark.com/livingloop/>

山崎亮「ロイダッツチャリティショップ@東東京市」

10/23（金）～10/25（日）



アパレルショップには欠かせないハンガー、什器、マネキンメーカーである日本コパック株式会社の1階にある「CPKギャラリー」で東東京市が開催されます。共催で、ロイダッツのポップアップショップを出店。ロイダッツで購入した服に対してシルク印刷などのワークショップも同時開催を予定しています。今回は千代田区を抜け出して、台東区からチャリティショップの文化を発信していきます。

会場：CPKギャラリー（東京都台東区柳橋1丁目28-1）

詳細：<https://www.facebook.com/loydattscharityshop>

東京ビエンナーレ2020/2021

見なれぬ景色へ

— 純粋 × 切実 × 逸脱 —

東京の街の中で何かが起こること、それを起こすのはアートだ、ということを知覚するキャッチ・フレーズが「見なれぬ景色へ」です。

すでに存在している都市の街並みに思わぬ仕掛けを突きつけて、あ、この景色の変化は何だ？と思わせるのはアーティストの仕事。また意識もせずになじんできた通り道に違和感を感じたら、それがアートの仕業だったということも起きるでしょう。

2020年の秋はコロナが見せる景色も共存します。表現者として、また観客、市民としてどんな方角へ向かうのかが問われています。

東京ビエンナーレは、東京のまちを舞台に2年に1度開催する国際芸術祭です。歴史的文化的色濃く残る都内の北東エリアを中心に、公共空間や格好空間、寺社会堂、歴史的建造物、公開空地など様々な日常空間を使って作品を展開します。2020年夏に第一回目を迎える予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大からコア期間を2021年7月～9月に設定し、それまではプレ期間とし様々な活動を展開しています。詳細は随時アップデートして参りますので公式ウェブサイトをご覧ください。

東京ビエンナーレ2020/2021

主催：一般社団法人東京ビエンナーレ

ウェブサイト：<https://tb2020.jp>

【お問い合わせ先】

一般社団法人 東京ビエンナーレ

〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14 アーツ千代田 3331内

TEL:03-5816-3220 FAX:03-5816-3221 E-Mail: pr@tokyobiennale.jp <担当：市川、森田>

<https://tb2020.jp>